



ニューオーリンズからの支援で届いた楽器を演奏する子どもたち 24日午後、宮城県気仙沼市、川村直子撮影

感謝の「スウィング」海越え

気仙沼の小中学生に楽器届く

宮城県気仙沼市のジュニアジャズオーケストラ「スウィング・ドルフィンズ（SD）」が24日、被災後初のコンサートを市内の避難所で開いた。津波で大事な楽器を失ったが、ジャズ発祥の地・米国ニューオーリンズからの支援で再起にこぎ着けた。

SDは1993年に発足した。メンバーは市内の小学5年〜中学3年。仙台市の

のジャズフェスティバルの常連だが、津波で練習場や楽器が流され、活動は危機を迎えていた。

ニューオーリンズの子どもたちに楽器を贈る活動を続けてきた音楽家・外山喜雄さん(67)が入づいてSDの窮状を知り、橋渡し役に。ニューオーリンズのライプハウスが「2005年のハリケーンの時にも日本からの義援金や楽器の寄付

で助けてもらった。今度は我々の番だ」と楽器購入費1万1千ドル(約90万円)を寄付。トランペットやサクソ、トロンボーン計14本がSDに届いた。

今月中旬、びかびかの楽器と対面したメンバーからは「きゃあー、すごい」と歓声が上がった。気仙沼中3年、昆野実花子さん(14)は「最後の1年なのに、全く活動できないと思っていたので本当にうれしかった」。この日、メンバー24人は「聖者の行進」や「故郷」など計5曲を演奏。会場の市総合体育館前ステージに

集まった被災者ら約400人はリズムに合わせて体を揺らした。自宅が流された気仙沼市の藤江初枝さん(74)は「感動、感激です」と涙を流した。

メンバーの同中3年小野寺貴子さん(14)は「皆に元気を与えたいと思って演奏した。拍手をもらい、自分もとっても楽しめた」。SDを指導する須藤丈市さん(52)は「活気ある気仙沼を思い出しもらえるような演奏をした。今後の子どもたちの成長をみなに楽しみにしてもらいたい」と話した。(山本亮介)

DASH村「続けたい」

実は福島県の「計画的避難区域」浪江に

人気アイドルグループ「TOKIO」が日本テレビ系列の番組「ザ!鉄腕!DASH!!」の企画として10年以上にわたって築き

続けてきた「DASH村」が、福島第一原発事故の影響で「計画的避難区域」に入った。メンバーは24日夜の放送で、復興に向けて

活動していくことを誓った。

DASH村は福島県浪江町の山間部にあり、メンバーは2000年から地元の人と野菜を育てたり、食卓を囲んだりしてきた。ただ、人が集まって混乱しないよう、番組では所在地を公表してこなかった。

この日の放送では、DASH村が浪江町にあることを明示し、村を手伝って

いた動物が無事避難していることを紹介。リーダーの城島茂さんが町民のもとを訪れた様子が映し出された。メンバーはそれぞれに「何としても元に戻

TOKIO、復興誓う

たしそか過県役し(きんさ